足袋蔵等歴史的建築物改修·活用事業(A事業)状況報告

施設名	牧禎舎
事業種別	平成25年度 ふるさとづくり事業補助対象事業
事業実施団体	NPO法人 ぎょうだ足袋蔵ネットワーク





事業内容

- ①アーティストが創造・製作活動できるスペースと、作品発表・販売や体験学習教室開講の場として活用できる共用スペースを整備し、行田市初のアーティスト・シェア工房を開設する。
- ②工房を開設したアーティスト等の作品発表も兼ねたアート系の イベント(作品展、クラフト・フェア等)を定期的に開催する。

【平成25~29年度】

- ●延べ利用者206団体 参加者約15,000人
- ○『アーツアンドクラフツ』
- ○『忍町アートギャラリー』
- ○『蔵めぐりまち歩き』イベントでの活用
- ○『和ンダーランド埼玉』(つまみ細工体験、機織り体験、染物ワークショップ等)

事業実績

- ○『市内中学校合同作品展』
- ○『縁側カフェ』、『手織工房展示会』、『つまみ細工教室』の開催
- ○創業ベンチャー支援センター埼玉 工房見学
- ○『かんのん塾展』
- ○『足袋蔵の街!行田おもてなしイベント』(アクセサリー手作り体験、タイムスリップ美術館、各種セミナー開催など)

【平成30年度】 ○『蔵めぐり・まち歩き』 ○『町を活き活き応援隊養成講座』(地域活性化、ブランディングデ ザインセミナー等) ○『足袋蔵昔体験セミナー』 ○『行田ぶらぶらブランディング』 ・行田市駅の徒歩圏内で交通の便が良いということもあり、毎年一 定程度の施設利用がある。 ・SNSを通じ各種イベントボランティアの募集を行ったところ、 他のイベントにも興味を持ってくれた方もおり、アートファンの 今後の有効活 興味を集めるような企画が有効だと感じている。 用に向けて ・アーティスト・シェア工房としては大変珍しい施設である。工房 (ヒアリング を利用している「仕立て屋りゅうのひげ」では、"履けない足袋" 結果) シリーズとして足袋をモチーフにした小物等を製作しており、販 売会を通じて足袋の魅力発信を行っている。行田市の歴史・文化 とも親和性の高いアーティストである。 ・牧野本店や足袋とくらしの博物館といった周辺の施設との相乗効 果も狙い、地域全体として盛り上げていきたい。

足袋蔵等歴史的建築物改修·活用事業(A事業)状況報告

施設名	牧野本店店舗
事業種別	平成28年度 ふるさとづくり事業補助対象事業
事業実施団体	NPO法人 ぎょうだ足袋蔵ネットワーク





事業内容

- ①ウーマノミクスを推進するための各種セミナー等を定期的に開催すると共に、プチ起業のお試し店舗等、女性の起業やまちづくり活動の実験・実践の場としての貸出しを行う。
- ②隣接する「足袋とくらしの博物館」や市内足袋メーカー等で製造された足袋を販売し、販売実践や新製品開発の体験等を通じて、女性の起業・経済活動の具体的な支援を行う。

【平成29年度】

- ○『蔵めぐり・まち歩き』イベントでの活用
- ○忍の行田・甲斐姫の会への賃貸(『女性の力を活かしたまちづくり、 食の研究』団体のオフィス、イベントスペースとして)
- ○子育て世代中心の地域活動団体のミーティング等での利用

事業実績

○『防災体験ロード』イベントでの活用

【平成30年度】

- ○『蔵めぐり・まち歩き』イベントでの活用
- ○きものこすぎへの賃貸(『和裁師の独立起業支援ショップ』)
- ○『行田ぶらぶらブランディング』イベントでの活用
- ○『行田寄席』の開催

今後の有効活 用に向けて (ヒアリング 結果)

- ・プチ起業や実践の場の提供という特長をPRし、起業の意欲がある 女性や団体に届くよう、積極的な情報発信を行っていく。
- ・ウーマノミクスの推進につながるような、セミナーや講座等の開催、イベント活用を積極的に行っていく。
- ・『和裁師の独立起業支援ショップ』である着物の仕立て屋は、休日 には足袋とくらしの博物館の見学者などに訪れていただいている。 和装に縁のある足袋蔵という建物を利用したこの店舗を活用して、 伝統の技術と着物文化のPRや着物ファンとの出会いのサポート 進めていきたい。
- ・こちらの施設も旧市街地中心部にあり、周辺の足袋とくらしの博物館、牧禎舎といった施設との連携を強化することで、地域全体の活性化につなげたい。